

1 Determinatio est negatio.

Determinatio privatio.

この2つは、オランダの哲学者である Spinoza の言葉で、前者は「限定は否定である」と、後者は「限定は剥奪である」とそれぞれ訳されます。中文では、“規定即否定”及び“規定即剥奪”と訳すことができます。

- 2 女性名詞 **determinatio** (属格は **determinationis** ですが、末尾の **is** を除くと **determination** となります) は **boundary, end** 等を意味し、**de+terminatio** (**a limiting, bounding** 等) に分解することができます。対応する動詞 (第1変化) は **determinare** であって、**to bound, limit, set bounds to** 等を表わします。これらに関連する英単語は、次のとおりです。

- (1) **term**
- (2) **terminal**
- (3) **terminate, termination**
- (4) **terminology**
- (5) **terminus**
- (6) **conterminous**
- (7) **determine, determination, determinant, determiner** (文法用語としては「限定詞」)
- (8) **exterminate, extermination**
- (9) **predetermine, predetermination, predetermine**

- 3 女性名詞 **negatio** は **a denying** 等を表わし、対応する動詞 (第1変化) は **negare** (**to deny** 等) です。関連する英単語には、次のものがあります。

- (1) **negate, negation, negative**
- (2) **neglect, negligence** (**gross negligence** は「重過失」となります), **negligent**
- (3) **negotiate, negotiation**
- (4) **abnegate**
- (5) **renegade, renege**
- (6) **deny, denial**

なお、上記(2)及び(3)中の単語に登場する **neg** は **negare** 自体を意味するもの

ではなく、ラテン単語 **nec** (**not, and yet not, and indeed not** 等) が変形されたもので、接頭辞としての役割をはたしています。

ところで、このシリーズ(8)3において述べた **nullus** 及び上記 **negare** は、印欧語根 **ne** (**not**) から分出したものですが、この語根に関連するその他のラテン語系英単語には次のものが含まれます。

- (1) **nefarious, nescience, neuter, neutral, nice, nisi**
- (2) **nihilism, nihility, nil, annihilate**
- (3) **nimiety**

そして、次の英単語は、ラテン語と関係なく当該語根にたどりつける語です。

- (1) **naught, naughty**
- (2) **neither, nor**
- (3) **never**
- (4) **no**
- (5) **none**
- (6) **not**
- (7) **nothing**
- (8) **nay**
- (9) **nix** (拒否、拒否する等)
- (10) **un-** (ラテン語では **in-**, ギリシャ語では **a-** 及び **an-** に相当する接頭辞です)

- 4 **privatio** は **a freeing from** 等を表わし、対応する動詞 (第 1 変化) は **privare** (**to strip, deprive of; to free from** 等) です。関連ラテン単語には、**privatim, privatus, privus** 等があります。これらに関連する英単語としては、次のものをあげることができます。

- (1) **privacy, private, privatize**
- (2) **privilege**
- (3) **privative**
- (4) **privity, privy**
- (5) **deprive, deprivation, deprival, deprived**

- 5 なお、**privity** 及び **privy** は、それぞれ「当事者関係」及び「当事者」又は「利害関係人」を表わす用語として用いられています。

- 6 とところで、**boundary, limit** 等を表わすラテン単語としては、**finis** (男性名詞。ただし女性名詞としての用法もあります) もあります。対応する動詞 (第

4 変化) は **finire** (to bound, limit, enclose within limits 等) であり、完了受動分詞は **finitus** (limited 等) となります。これらに関連する英単語は、次のとおりです。

- (1) **fine** (「罰金」という意味もあります)
- (2) **final, finale**
- (3) **finance, financial, financier**
- (4) **finish**
- (5) **finite, infinite, infinity, infinitive** (文法用語としては「不定法」又は「不定詞」), **infinitude**
- (6) **confine, confinement**
- (7) **define, definite, definition, definitive, indefinite**
- (8) **refine, refined, refinement, refinery**
- (9) **affinity**

7 ロシア語コーナー

上記 1 中のラテン語文をロシア語で表わすと、次のようになります。

Determinatio est negatio -Ограничение есть отрицание.

Determinatio privatio – Ограничение есть лишение.

8 初歩的数学用語コーナー

- (1) 分母 **denominator**
denominator は、後期ラテン語男性名詞 **denominator** がそのままの形式で英語に入った語です。
- (2) 分子 **numerator**
numerator も、後期ラテン語男性名詞 **numerator** がそのままの形式で英語に入った語です。
- (3) 通分 **reduction of fractions to a common denominator**
- (4) 通分する **reduce(change, convert) fractions to a common denominator**
- (5) 約分 **reduction of a fraction to its lowest terms**
- (6) 約分する **reduce a fraction to its lowest terms**
reduce 及び **reduction** は、ラテン語第 3 変化動詞 **reducere** 及び女性名詞 **reductio** から派生した語です。**term** は上記 2(1)にも登場していますが、ラテン語男性名詞 **terminus** (boundary-mark, limit 等) から派生した語です。